

読んでみよう 解いてみよう
せん太のワークシート

「**渋川ユニバーサルビーチプロジェクト**」というグループが、**玉野市の渋川海岸**を誰もが安全に使えるようにするための**環境整備**に取り組んでいます。記事を読み、**質問**に答えましょう。

渋川海岸でビーチマットの使用感を確かめる
 藤原さん



渋川海岸
車いすで安全に
 環境整備
 グループ **移動用マット試す**

誰もが安全に砂浜を移動し波打ち際までアクセスできる環境整備に取り組むグループ「渋川ユニバーサルビーチプロジェクト」は2日、玉野市の渋川海岸で、車いす利用者向けビーチマットの機能を試し、同海岸のバリアフリー化へ一歩を踏み出した。プロジェクトは、障害者サーフィンの選手

で車いす生活をしている藤原智貴さん(47)岡山市中区国富Ⅱが代表を務める。競技で訪れる海外のビーチはスロープやマットが整備されているのに対し、国内では車いす利用者が気軽に遊べる海辺があまりないことから立ち上げた。藤原さんら4人はこの日、購入したマット(幅1・8メートル、長さ計約50メートル)の一部を広げ、車いすで進んだり、歩いたりして使用感を確認。マットは砂がかかっても隙間から落ちる特殊な構造だが、砂浜の凹凸が多いと車いすが動きにくいから敷く面をならしてから敷く方がいい」といった注意点を話し合った。今後、イベントでの

活用や希望者への貸し出しを検討する。藤原さんは「車いす利用者は制限が多く、いろいろな活動を諦めている。マット導入を契機に子どもからお年寄りまで誰もが気兼ねなく楽しめる渋川海岸を実現したい」と話した。
 (内田貴大)



どんな立場の人も
 制限なく暮らせる社会に
 なるといいな。

3日付、山陽新聞全県版

Q1 ★★★★★

このグループは、**渋川海岸**に何を導入しようとしていますか。第1段落、見出し、写真を参考に答えましょう。

Q2 ★★★★★

グループを立ち上げた藤原さんは車いす利用者で、**障害者サーフィン**の選手でもあります。なぜこのような活動を始めたのでしょうか。第2段落から読み取りましょう。

Q3 ★★★★★

このグループは、**海岸**のバリアフリー化を目指しています。皆さんの身の回り、バリアフリー化した方がよいと思う場所がありますか。調べてみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。